

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません

令和7年度佐賀県クリーニング師試験問題

3 洗たく物の処理に関する知識

【注 意 事 項】

- 1 解答用紙に、「受験番号」と「氏名」を忘れずに記入してください。
- 2 机の上には受験票と筆記用具のみを置いてください。
- 3 携帯電話は、必ず電源を切るかマナーモードにし、机の上には置かないでください。
- 4 解答は、答案用紙にHB又はBの鉛筆（シャープペンシル）で記入してください。
- 5 1つの問題には、複数の選択肢があります。1つを選び解答してください。
- 6 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 7 試験中にトイレ、体の不調、筆記用具の落下など試験担当者に用事がある場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- 8 試験問題については、各自持ち帰ってください。

試 験 問 題

【洗たく物の処理に関する知識】

問1 クリーニングに関する次の問いに答えなさい。

(1) 毛皮のクリーニングに関する記述として誤っているものはどれか。次の中から1つ選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

- A. 洗淨は、パウダー洗淨後にダスティングを行う。
- B. 熱に弱いので、仕上げは裏地のみにアイロンをかける。
- C. 保管の湿度は、10～15%が最適である。

(2) しみ抜きに関する記述として正しいものはどれか。次の中から1つ選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

- A. 油性の汚れには、化粧品、ペンキ、グリースなどがある。
- B. 油性のしみは、しみの周囲の輪郭が比較的是っきりしているものが多い。
- C. 不溶性のしみには、モノクロロベンゼン、アセトンなどを使用し、これらの薬品にドライソープを混合すると効果的である。

(3) ランドリーに関する記述として正しいものはどれか。次の中から1つ選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

- A. 洗濯機に入れる前の分類で、白物であれば、綿100%とポリエステル混紡品とで特性が同じなので分ける必要はない。
- B. 本洗いでは石けん又は洗剤を使用し、洗剤の洗淨を助けるためにアルカリ剤を加える。
- C. リネンサプライの主たる洗濯作業はランドリーになるが、浴衣やガウンは取り扱い対象品ではない。

(4) 特殊クリーニングに関する記述として、誤っているものはどれか。次の中から1つ選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

- A. 皮革のクリーニングの仕上げは、人体プレス機を用い、80～90℃で蒸気量を多めにして処理する。
- B. 和服のクリーニングで、生洗い（いきあらい）は汚れを部分的に洗浄して除去する方法で、ベンジンや石油系溶剤を用いる。
- C. カーペットのクリーニングで、水洗いは洗浄効果が最も大きい。

(5) 溶剤と洗剤に関する記述として誤っているものはどれか。次の中から1つ選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

- A. ランドリー用水は洗剤の力を低下させないために、硬水を用いる。
- B. 石油系溶剤は、油脂溶解力が小さく、比重が軽いので、ソフト洗いに適している。
- C. ランドリーで主に使用される漂白剤の過炭酸ナトリウムは、40℃以上で効果を発揮する。

問2 次の衣料用の繊維の説明で、文中（ ）内の中から正しい語句を選び、そのアルファベットを解答欄に記入しなさい。

- (1) ポリエステルは、三大合繊の一つで、(A. 寝具・インテリア用 B. 産業用 C. 衣料品分野)での使用が多い。
- (2) (A. レーヨン B. ロープーマ C. キュプラ)は、原料の木材パルプから絹の外観に似せて人工的につくった再生繊維で「人絹(じんけん)」と呼ばれた。
- (3) (A. アセテート B. ナイロン C. ポリノジック)は、「酢酸人絹」とも呼ばれていた半合成繊維で、絹に似た光沢と深みのある鮮明な発色を特徴とする。
- (4) (A. リヨセル B. スパンデックス C. モダクリル)はその特性を生かして、人工毛皮(イミテーションファー・フェイクファー・エコファー)などに用いられる。
- (5) わが国で最初に発明された合成繊維である(A. ケナフ B. ビニロン C. ポリウレタン)は、合成繊維の中では最も吸湿性が高く、強度があり、摩擦に強く、価格が安い。

問3 ドライクリーニングに関する次の記述のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) ドライクリーニング溶剤の粘度や表面張力が小さいほど、衣料に浸透しやすく、きれいに洗える。
- (2) ドライクリーニング溶剤のカウリブタノール値(KB値)は、石油系溶剤よりもテトラクロロエチレンの方が小さい。
- (3) チャージシステムでは、ソープ濃度を0.5～1%に調整するのが一般的である。
- (4) ドライ仕上げの最適な蒸気圧は、0.35～0.4MPaである。
- (5) 石油系ドライ機の使用時、溶剤の温度は、40℃を超えるようにして洗浄する。

問4 ウエットクリーニングに関する次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) ウエットクリーニングでは、油性汚れはドライクリーニングの30～50%程度しか除去できない。
- (2) ドライクリーニングの対象品は、全てウエットクリーニングの対象品にはならない。
- (3) JISL0001のウエットクリーニング記号には、洗いから乾燥まで試験条件が規定されており、原則としてMA値の上限以下になるように条件設定した処理を行う。
- (4) 乾燥温度は60℃以下が良く、乾燥率は90%付近までが良い。
- (5) ポリエステル素材でベロア加工を行った衣類はウエットクリーニングが可能である。

問5 次の文章のうち、正しいものには○印を、誤っているものには×印を、解答欄に記入しなさい。

- (1) 特殊プリント加工品のドライクリーニングは、石油系溶剤を用い、ネットを使用する。
- (2) 洗剤や仕上げ剤などのイオン性によって、薬剤の併用性を判断する。アニオン系とカチオン系の併用は、イオン結合を起こして本来の効能が相殺されることがある。
- (3) 合成皮革は、塩化ビニル樹脂を基布にコーティングしたもので、ドライクリーニングはできない。
- (4) アラミド繊維は、ナイロンの一種で強度や難燃性、耐熱性に優れることから消防服や防弾チョッキなどに使用されている。
- (5) 柔軟剤（ソフター）は、自己乳化型のアニオン界面活性剤が成分で、衣服を柔らかくふっくらした感触に仕上げる。

解 答 用 紙

【洗濯物の処理に関する知識】

受験番号	氏 名

問1 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
C	A	B	A	A

問2 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
C	A	A	C	B

問3 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	×	○	×	×

問4 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
×	×	○	○	○

問5 (4点×5＝20点)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
○	○	×	○	×